

図書館の歩き方

図書館用語編

今回は、分かるようで分からぬ図書館用語の特集です!!

図書館内で使われている用語の中から利用者の皆さんに知つてほしい用語を選びご紹介します。



A：貸出規則、図書館サービスなどの利用上のシステムの説明、名称として使われている用語

開架（式）

利用者が直接書架に接し、自分で資料を手に取って内容を確認し、資料を選択できるようになっている書架（閲覧方式）。接架式ともいいます。

閉架（式）

開架式に対し、利用者は書架に接することができず、目録を検索し、所定の用紙（請求票など）に記入して、図書館員に書架から取り出してもらう方式。出納式ともいいます。

更新

貸出期間を延長する場合に、単に更新といつています。

延滞

貸出期限を過ぎ、図書館資料の返却が滞っていることをいいます。

レファレンス・サービス

学習・研究活動を進めるうえで必要な資料を求める利用者の質問に対して、資料、情報または、情報源などを提供、支援する人的サービスのこと。参考業務と同意語として使われています。また、情報サービスとも言われます。

禁帯出

図書館内での閲覧のみに供し、館外への貸出を認めない資料。貸出禁止の資料。本学では、参考図書類、地図、新聞、雑誌の最新号、個人文庫の一部、貴重書などが指定されています。



オーバーナイト・ローン = 一夜貸し

禁帯出の参考図書や雑誌の最新号などについて、他の利用者の妨げにならない、閉館時から翌朝の開館時までの貸出を認める制度で、間に日曜日を挟む場合をオーバーサンダー・ローンといいます。本学では、閉館 1 時間前から翌日の午前 10 時まで（土曜日の場合は月曜日の午前 10 時まで）の貸出となっています。

B：図書館の設備等に関わる用語



キャレル

キャレル

本来は図書館内の個人用閲覧室であったが、転じて書庫内の閲覧用デスクのこととなり、現在では、書庫内なくとも落ち着いて読書や調べができる 1 人用のデスクをキャレルと称しています。

BDS（ブック・ディテクション・システム）

図書館資料の無断（未手続）持出しを防ぐ装置、出口ゲートに設置されています。

図書館の歩き方

図書館用語編

C：目録上の記載や資料の配架・配置場所など資料検索に関わる用語

請求記号

図書館資料の配架されている位置を示す記号。一般には、分類記号と図書記号(著者記号)との組み合わせで表現されます。閉架式の場合、目録を検索し、配架位置（場所）を調べた上で資料の出納を請求したことからこの名称がつきました。

請求記号・著者記号・別置記号等



OPAC(Online Public Access Catalog)

利用者にオンラインで開放されている目録。

ISBN(International Standard Book Number)

= 国際標準図書記号

個々の図書の識別のため国際的に与えられる番号。アラビア数字によって、国名（または言語圏）、出版社名、書名を表す。日本には国別番号 4 が与えられています。

D：図書館の資料の区分、種類等に関わる用語

参考図書 = レファレンスブック

百科事典、各種事典・辞典、年鑑・白書、統計書、年表など。

AV=Audio Visual (AV 資料)

映画、諸芸、記録、音楽などの音声・映像資料。

紀要

主として大学や学会などに提出された論文や研究発表などを掲載する機関誌に紀要という語が多く用いられています。

図書記号

同一分類番号を付与された複数の資料をさらに個別化するための記号。種類としては、受入順記号、著者記号、年代記号等があり、本学図書館では、著者記号を用いています。

著者記号

著者を表す記号。多くは、著者の読み（カタカナ・ひらがな・ローマ字等）、原綴り、翻字の綴りの初字（1 ないし 2～3 字）または、数字との組合せで構成されます。

別置記号

一般図書と別配列であることを示す記号。（一般的には、請求記号の分類番号の前に付けられている。）

本学の別置記号⇒B：文庫、R：参考図書

資料 ID

その資料固有の番号（1 資料 1 番号）で、資料の管理番号です。資料の貸出、貸出状況の検索、予約などは、この資料 ID によります。

ISSN(International Standard Serial Number)

= 国際標準逐次刊行物番号

逐次刊行物を識別するための国際的なコード番号です。

バックナンバー

逐次発行される雑誌・新聞などの最新号以外の号（前の号）。

札幌大学紀要

